

平成23年度

専門委員会だより

専任委員、専任委員

vol.2

佐野博行
広報専門委員長

松田依子
研修専門委員長

川嶋裕子
家庭教育専門委員長

加地幸夫
健全育成専門委員長

又野幸治
組織・運営専門委員長

専門委員会は人と人のつながり。みんなが主役です...!

前回の専門委員長会からまだ 2 か月。しかし、ずいぶん時間が経ったような気がします。10 月に入り、各専門委員会も 4～5 回目の会議を終え、特に広報紙の発行が済んだばかりの広報専門委員会は一つの区切りとなった頃。どの専門委員会活動も活発に進んでいるのではないのでしょうか。

今回は、各専門委員会の現在までの様子、これからの取り組みや今後の方向性、また、ここがわが委員会の自慢！というところを織り交ぜながら、自由に話し合い、情報の交換をしました。

「専門委員長会」出席者

組織・運営専門委員長 又野幸治（西脇小）
研修専門委員長 松田依子（泉台小）
広報専門委員長 佐野博行（桜が丘中）
健全育成専門委員長 加地幸夫（高津橋小）
家庭教育専門委員長 川嶋裕子（原田中）

家庭教育専門委員会では…

7 月は、「テーマを決めよう」から始まった。総会（6 月）で委員さんに、何が話し合いたいかを聞くアンケートを取った。そこからさらに多数決で絞り込み、「共育（きょういく）（親と子が一緒に育つ）」を考えよう」に決まった。

情報交換の中では、委員の中で、メール配信について詳しい方から、現状や様々な企業の工夫など、皆が知りたかった情報を得ることができた。

9 月は、川崎市での指定都市 P T A 情報交換会で体験した、模造紙を 4 つのテーマに分けて、各自の意見を書き、付箋を貼っていくやり方が面白かったので、早速実践した。この時のテーマは「家族との会話について」。夫婦で会話する時間や、子どもとどんな話をしているのか、また家族全員で話をするのか、理想の家族は、など、3 グループに分かれ、それぞれで意見を出してもらった。これが結構盛り上がった。なかなか話の尽きないグループもあり少人数で話し合う事の良さが現れた。



付箋に書きながら話も弾む会議の様子

グループで付箋を貼り終えての発表では、結局は 3 つとも「今のままがよい」という事になって、良かったのかなど。それぞれの家庭の話などするうちに、委員さん同士も仲良くなってきた。委員会にはなかなか全員出席とはいかないが、いつも副委員長には助けられている。

次回は雰囲気を変え、王子動物園の方をお招きし「動物の子育て」の話聞きそれについてみんなディスカッションするという委員会を開催する。今後もこんなメリハリのある会にしていきたい。会議室を出て、現地での委員会も楽しそうなのでやってみたい。（川嶋委員長）

健全育成専門委員会では…

3 回、4 回と会議を行ってきた。年度当初に自身でやってみたい事として、子どもの気持ちを知るためのアンケート作成も視野に入れながら 3 回目は「食育」と「消費者教育」をテーマに話し合った。

「食育」の話では盛り上がった。ただ、この話題で進めて行けば行くほどどうしても、家庭へ向かってしまう。健育の立場から考えようとしてもイメージとして家庭へと話題が向く。次に「消費者教育」に話題を向けてみたが、時間も資料も少ない中で、その時はあまり話ができず、第 4 回という事になった。

平成 23 年度の市 P 協活動方針にあるような「時代に即し、前例にとらわれない活動をめざし」、専門委員会の活動方針としては、「家庭教育の向上」「情報の収集・発信」をテーマに進めている。その中で特に今年は「食育」「消費者教育」に力を入れたいと考える。各専門委員会で、何らかの形で取り組もうとしている。

第 3 回目は昼食も一緒に、お弁当ミーティングを試みた。ベテラン P T A 役員の方もおられ、様々な委員さん同士、みんなが打ち解けることができ、好評だった。話す人が固定しないよう、また委員長だけの話にならないよう、「必ず一人 1 回はしゃべる」を目標に、家庭教育専門委員会を参考にして委員さんへ委員会に対するアンケートを取って見た所、皆さん現状をよく見てくださっており、今後の進め方についてもアドバイスも頂いたのでありがたかった。ただ、いつも議論が深まる一歩手前で時間切れになって終わってしまうという委員長としての不安あり、第 4 回では、始めに「ア

ンケートを実施できるか」という話題へ戻してみた。すると、委員さんの方から「こうやってみよう」「中身についてはこの方が」などのご意見を頂き、アンケート作成に向けて話が進んだ。アンケートのテーマに「食育」「消費者教育」「地域と友達」という3つの大きな柱を決め、アンケート実施について確認できた。

第5回までに、各テーマの設問を考えるグループごとで、それぞれ会議を持って頂くことも決めてもらった。皆さんが自主的に進めてくれていると実感している。欠席された方も参加しやすくなるよう配慮し、アンケート実施に向けて、今後は学校などに理解を頂けるように努力したい。

誕プレ(誕生日プレゼント)事情、ケータイ、お小遣いについて…親が知りたい子どもの考えとしてまとめ、PTAの皆さんに、委員さんと同じ目線で見てもらえるような冊子にまとめることができたかと考えている。(加地委員長)



ランチミーティングではさらに話が弾む

広報専門委員会では…

お疲れ様でした。という感じ。出来上がった「PTA神戸」。わが子のように思える。今までだったら、さりと読み捨てていたのに、何もないところから立ち上げていったので、めちゃくちゃ嬉しい。ここまで行き着くまでが大変だった。悩みながらだった。前回のこの会でずいぶん励まされた。

回を重ねていくと、委員さんの中からいろいろな意見が出て来はじめ、悩みは払拭された感じ。楽しい雰囲気もだんだんできてきて、2時間が短い。後の方は30分早めて、9時半から始めた。いつも行くと部屋から笑い声が聞こえる。委員長も委員も関係なく同じようにやっている。前回ここでもらったアドバイス活かして、1回だけだがランチ会も。自分だけ男で女性ばかり。どうなるかと思ったが、結局話が盛り上がりすぎてしまい、何時間も…という事も。委員さんから「最初は忙しそうでいやだなと思ったが、すごく楽しかった」という声が多く聞かれた。笑いがあり、意見もボン

ボン。活気ある「広報」の良いイメージへと上がっていったまま次の年へ引き継いでほしい。自分が仕事で休んでも、副委員長、班長に支えられ、



アドバイスが効いた。専門委員長会に感謝!

A班は人に恵まれた。A班のみんなへ「ありがとう」のメールを打った。次はB班。総会以来で会うことになり、また最初からだが、とても期待している。委員会以外のいろいろな人も一緒になって作られる新聞は、とても大切な物になった。しんどいけれどやりがいがある。

後半は「食育」「消費者教育」も取り組んで3月総会へ向かいたい。(佐野委員長)

研修専門委員会では…

9月は、ひと月あいて久しぶりという事で、夏休みの話を一人につき5人とするという、アイスブレイクから入った。「5校種合同研修※」にお招きしたい講師を全員が1人は探してきており、多数決を取り、結果、今年の委員会のテーマでお話をしてくれる講師さんを選んだ。



例年1月末～2月に行っていた、神戸市受託事業「5校種合同シンポジウム」は今年度から市P協独自の事業となった。PTAが企画・運営するPTAのための研修会を目指して改称した。

今年のテーマは「この日本に元気発信!～市P協研修専門委員会から～」と決まり、この一年は必ずこれを掲げ、会議を進めている。

講師が決まれば、少し時間が開くので、今年はやってみたかった「ミニ研修」を提案した。委員さんも乗り気で、いろいろなアイデアを出してもらった。この委員会では必ず1人一言はしゃべって帰る。議事録も毎回違う委員さんを指名して書いてもらう。ランチは毎回、行ける人は行こうと声

をかけて、総会以来お休みだった方が今回はランチにも参加してくれたのか嬉しかった。このやり方がよかったのか「食育」「消費者教育」についての話題も盛り上がった。

全専門委員会対象ミニ研修会・食育

我が家のカレー～PTAカレーを作ろう！～
まずはワールドカフェで、皆さんのアイデアをいただきます。

WITH **MOTI MAHAL JAPAN**

日 時 11月28日(月) 10時～12時

会 場 **KEC6階 602・3**

ワールドカフェで、あなたのうちのカレー自慢をしてください。
お料理苦手な方の簡単カレー
子どもが喜ぶおいしい楽しいカレー
ヘルシー・ダイエットカレー・豪快ワイルドなカレー
懐かしのおふくろの味カレー…などなど、
皆さんの秘伝を持ち寄ってください。
皆さんのアイデアを盛り込んで、PTAカレーを作ろう！
(カレーは持ち寄らないでください)

楽しく話したそのあとは…
インディアンレストラン モーティ・マハール・シャバン 明石・大久保の
コックさんから、スパイスと健康について本格カレーの秘訣を教えてください。

市PTA専門委員会さんなどの専門委員会からでも参加できます。(参加費無料)
お申し込みは所定の用紙が、各専門委員長までお知らせてください。

神戸市PTA協議会／研修専門委員会主催

初のミニ研修会「PTAカレーを作ろう！」

その中で、「食育」の話から、難しく考える「食育」よりは誰もが作れる「カレー」はどうかという意見を出してくれた。そこでみんなが家庭で作るカレーについてワールドカフェ形式での討議をしてみる。そこから良いとこ取りのオリジナルレシピを作ってみる。また実際につくって見るところまで行けたら…と、話が膨らみ「PTAカレーを作ろう」という企画ができた。第一弾として研修委員会としては「ワールドカフェ」形式を学ぶ研修となるよう、各専門委員会にもお声掛けし、参加していただき、また、PTAの中から講師を探し、本格インド料理専門店の方からスパイスの効能を伺う「食育」研修も兼ねることにした。

役員会の承認をもらえば実現するところまで一気に、委員さんに引っ張られて行っている感じで楽しい。(松田委員長)

組織・運営専門委員会では…

テーマを出して次回に話し合うようにしているが、話題について話すのが一回きりの会議で終わり、正直物足りない感じ。不完全燃焼のような思いがのこる。なかなか意見が活発に出にくい雰囲気もまだ残っている。そういった中で会議の形を変えてみた。家庭教育と同じく、付箋を使ったグ

ループ会議形式を取り入れて「PTA主催行事、イベント」について話し合ってみた所、皆が何か書くことでしゃべらない人の意見も引き出せた。まとまらないうちに終わってしまったのが残念。

大きなテーマは「助け合い、支え合い、感謝しあえる仲間」を掲げ、これに沿って毎回小さなテーマで話し合う。「家庭」でも「地域」でもなく「組織」とは何か難しい。逆に何でもできるがですぎてポイントが絞れない。次は「情報発信の方法について」もっと活発に意見交換をして中身が充実するような委員会をめざしたい。「組織」というからには「市PT協」の話でもよいのではないと思うが、大きすぎて、委員さんの単Pで困っていることなどから話し会おうと思っている。「他の学校ではどうなの？」など、みんなの知りたい事などを調べ、データ化して神戸市の平均など出せたら面白いのではと思っている。(又野委員長)



単Pの様々なイベントや行事を抽出してみた

委員長それぞれの思い

5つの専門委員会の今現在の様子をうかがってみると、それぞれ速度は違っていても回りだしているようです。では、この専門委員長会も含めて、今思うことを語り合っていました。

(佐野) 専門委員長会議を前回開催したおかげで一気に委員会の雰囲気を変えることができた。ランチ会の実施や、委員さんに協力をお願いしやすくなったこと…。

(加地) どの専門委員会に限らず、結局は「委員の皆さんと円滑に議論していくこと」が課題だと思う。昨年度から「新しい専門委員会についてのあり方」※を考えて頂いているが、進め方はメンバーに左右されてしまうこともあったかもしれない。

それぞれの専門委員会の目的意識をはっきりとさせることが大切。

平成 22 年度末に発足された「専門委員会あり方検討会」では、22 年度会長を委員長に、副会長および 5 つの専門委員長と、23 年度の正副会長も新年度から加わり、委員一人ひとりが目的意識を持って市 P 協の重要な核となるような専門委員会を目指し、活動の P R と活性化になるよう会を重ねた。この会から最終的に出した「提案書」には、内容の明確化や名称変更、スケジュール表など盛り込んだ。23 年度役員で、これをヒントとし、今後も引き続き検討していく。

（加地）健育の中ではここで話し合った内容をもっと広く伝えていかないと、と言ってくれている委員さんもおられる。

（又野）出てきた委員さんが得するような専門委員会でありたい。

（松田）この専門委員会には、会長または少なくとも本部役員が参加している。単 P 活動に活かしてくれる人がいるはず。

（佐野）欠席の委員さんへは、フォローはしていく。休んだ後、来にくくならないように。

（松田）けれど、多勢休んだ回があったとしても会議は気にせず進めていく。もちろんフォローはしていく。

（又野）今回で半分が過ぎた。残された時間は少ない。

（佐野）回数が多いのもきずなが深まる。仲良くなる。回数を重ねることも大切だとわかった。

（松田）委員長がまず楽しまないと委員さんもと

のしくないと考えていく。

（又野）自分はちょっと違う。自分より人を楽しませたい。それで自分が楽しくなる。何より、困っている人を助けたい。だから、単 P で困っていることを聞き出したいと思った。「お悩み相談」みたいな。

（加地）まさに「組織・運営」のテーマにのって、「助け合い支え合い」から議論を深めていくことが良いのでは。

（川嶋）「家庭教育」も、1 回ごとの話し合いで終わってしまっている。この話し合いの結果を何かまとめていけたらと考えている。

（加地）様々に議論を尽くしているなかで、ここに来て、どの専門委員会もいよいよ「ノってきた」という雰囲気を感じる。

（松田）1 人ずつでも協力者を増やしていくためには、やはりランチ会に尽きる。少人数でもいいので毎回声をかけてみる必要があるのではないかと思う。会議の準備や後片付けも、委員長から「ちょっと手伝ってもらえますか。」など声をかけてコミュニケーションを意識的に図っていくことで、だんだん皆が、協力してくれるようになる。そうすれば、会議でも話しやすくなったり、こちらから気軽に答えをふったりすることができる。

（加地）3 月の総会に向けて、何か一つ形として残したいと思うし、そのために委員の皆さんとともに精一杯努力したい。



こうやって話し合う、情報交換も大切



今回のお話は、10 月 12 日（水）午後 6 時から神戸市総合教育センターで開催された「専門委員長会」内容をまとめたものです。

次号では、3 月の総会までに、それぞれの委員会がどのような成果を表すことができたのかを、お伝えすることができればと思っています。

 神戸市PTA協議会

〒650-0044

神戸市中央区東川崎町1-3-2

神戸市総合教育センター内

TEL(078)360-3453